

Pastel Living 鶉の木 現況報告

—医療的ケアのある方の地域生活—

1. 入所者の状況

定員14名中、2名が医療的ケアを必要としている。

2. 利用者の状態像

【Aさん】

男性。滑脳症。

2022年1月27日入所。月～金曜日の9:30～15:30で大田区内の通所施設を利用。

胃ろうからの経管栄養、痰の吸引の実施。2021年10月に誤嚥性肺炎により胃ろうからの経管栄養となった。

【Bさん】

男性。4P-症候群。

2022年4月1日入所。月～金曜日の9:30～15:30で大田区内の通所施設を利用。（同法人が運営）胃ろうからの経管栄養の実施。体調不良時には痰の吸引の実施。

3. サービス提供の現状

医療的ケアについて

7:00～通所時間まで グループホーム看護師が実施。

日中は通所施設の看護師が対応。

帰所後、Aさん；17:00～18:00、Bさん；18:00～19:00 訪問看護師が実施。

入所にあたっては主治医および家族（主に母）から看護師が個々に合わせた医療的ケアの手技の研修を受けた。また、訪問看護師の利用できる時間と、自宅での経管栄養の注入時間が合わなかったため、主治医と相談し、1日の経管栄養の注入時間を調整した。また、Aさん、BさんともにGH以外にも家族、主治医、通所施設、訪問看護師と細かく情報共有が出来るよう、医療的ケアノートを作成した。

4. 課題

現在、夜間の医療的ケアについて訪問看護ステーションで対応を行っている。医療的ケアの内容によって夜間の看護師配置を検討している。訪問看護ステーションは祝日、年末年始に休みとなることが多いため、訪問看護師が休みの際はグループホーム配属の看護師と法人内の看護師で対応している。また、緊急時には家族と主治医に連絡をする流れを作っている

今後、利用者の状態像の変化により人工呼吸器の使用等が必要となった場合、災害時の非常用医療電源の確保、職員の確保等が課題となる。